

公益財団法人すみれ学級  
2020（令和 2）年度事業報告

I. すみれ学級を取り巻く環境及び情勢の変化

新型コロナウイルス感染症の影響

(1) 発生状況

2020 年度の 1 年間は人類が未だ遭遇したことの無い重度の急性肺炎により生命の危機のさらされる新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、瞬く間に世界中を席卷し、2020 年 1 月から現在に至るまで、感染拡大の勢いはなお収まらず罹患者数は約 1 億 6 千 7 百万人、死者数 347 万人（5 月 25 日現在）に及び、予防効果の期待されるワクチン接種が主要国を中心に進捗しつつある。

我が国においても罹患者数約 72 万 6 千人、死者数約 1 万 2 千人に及び、東京、大阪など大都市圏を中心に医療崩壊の状態にあり、現在主要都道府県を中心に緊急事態宣言が発せられている。本県でも罹患者数 3231 人、死者 38 人（同）となっている。

発症前から他者に感染する人類が経験したことの無い異様なウイルスは、イギリス型やインド型などに変異を繰り返し、その勢いはとどまるところを知らない。世界中の英知を結集し、短期間でワクチン接種が開始され、これまで既に数億人が接種したと報告されているが、我が国では医療従事者に対する接種に続いて高齢者からワクチン接種を始めているが、なお人口の数パーセントにとどまっている。

(2) 新型コロナウイルス感染症が引き起こす社会、経済、とりわけ子どもたちの生活に及ぼす影響

1 年以上に及ぶ新型コロナウイルス感染症禍により、これまで言われてきた一人親家庭を中心とした「子どもの貧困」に新たな要素が

け加わっている。実体経済における観光業、宿泊業、飲食業、旅客運送業などがこれまでのビジネスモデルが壊れ、仕事が蒸発した状態が続き、多様な関連業種にわたって企業倒産及び休業を余儀なくされ、なおその回復の兆しが見えていない状況にある。こうした中、非正規雇用者を中心にレイオフ、解雇が続出し、新たな貧困を生み出し、特に経済力の弱いひとり親家庭を直撃している。

また、長引く巣ごもり生活の中で若年層を中心に自殺者が増加しており閉鎖的な精神生活と社会不安の中で多くの人が孤立した生活を余儀なくされている。

こうしたコロナによる我慢生活の最も深刻な影響を受けているのは「子どもたち」であり、世帯収入の小さい母子家庭の貧困はコロナ以前よりも一層進んでいるものと考えざるを得ない。昨年3月2日からの3ヶ月に及ぶ小・中・高等学校等の一斉休業により、子どもたちは学業の場と遊びの場を同時に奪われるという未曾有の経験を余儀なくされ、今もなお自由な外出や買い物、外遊びなどが制限されており、荒廃する家庭環境の中で「持って行き場のない閉塞感」と「失われた学習時間・環境」にあえいでいるものと思われる。いずれ、今後のコロナウイルス感染症が収束したときには、これらのことが子ども達の将来にわたる人格形成にどのような影響を及ぼすかについて、私たち福祉関係者は教育関係者と連携して注意深く見守っていかなければならない。

### (3) 子どもたちに希望の光を灯し続けた「すみれ学級」

コロナ渦により全国的にほとんどの子ども食堂が休業を余儀なくされたといわれているが、すみれ学級は、自己責任のない子ども達に「ひもじい思いをさせない」「子どもの学習権利を奪わない」「子どもの居場所を確保する」という創業以来の志を貫徹し、環境衛生に最大限の配慮をしながら1組から3組については通年事業を貫徹したところである。その場で提供できない食事については、弁当配布するなどのスタッフ一同による様々な工夫と、それらを支えていただいた県内外の御寄付者をはじめとする「子ども達の未来」を考える御支援者の皆様のご尽力の賜物と厚く感謝申し上げる次第である。

## II. 新型コロナウイルス感染症禍の子ども食堂としてのすみれ学級の運営方針の確立と学級運営状況

### 1. 基本理念

#### すみれ学級創業の「志」の持続的発展

子どもの将来がその子には何らの自己責任もないにも拘わらず、その生まれ育った環境によって左右されるような不条理があってはならず、すべての子どもが健やかに育成される環境を整備するため、引き続き子どもたちの「食」の確保と、学習支援、居場所づくりや生活相談、さらには進学指導のための事業を遂行してまいりました。

### 2. 新型コロナウイルス感染症下の学級運営

現在その渦中にある新型コロナウイルス感染症が、いつどのような形で収束するか極めて不透明であるが、そうする間にも子ども達を襲う「飢餓感」「学習保障」「居場所の欠落」を少しでも補うため、私たちはアンテナを高く張り、何よりも子ども達、運営スタッフの安全・安心を確保するため保健衛生当局とも連携しながら、粛々と子ども食堂事業を進めてきたところであります。

#### 具体的運営

##### ① 検温、手洗い、スタッフ及び児童生徒の体調確認の徹底

食事中の唾液飛沫を避けるため、現在学校給食で行われている前方注視、無言の食事を徹底して行いました。

##### ② アクリル仕切り板の設置などの唾液飛沫対策

学習中のマスク装着は義務とし、指導員によるこまめなソーシャルディスタンスの確保に務めました。

##### ③ 換気、衛生器具の設置

手指消毒薬を常備し使用の徹底を図るとともに、空気清浄機の設置を徹底しました。

### 3. すみれ学級の開催実績

未曾有の国難というべき新型コロナウイルス感染症渦であるからこそ、社会的弱者に陥りやすい子ども達に絶えず目を向け、その心身の健康に留意し、子どもとその保護者が社会的に孤立し、ひとりぼっちで放棄されることのないよう、本年度も子ども食堂「すみれ学級」事業を展開しましたが、やむを得ない事情により、一時的休業措置を執らざるを得なかった学級もありました。

#### (1) すみれ学級通常事業

① すみれ学級 1 組 (敷戸教室)	夕食	学習指導	大分市
② すみれ学級 3 組 (小池原教室)	夕食	学習指導	大分市
③ すみれ学級 3 組 (小池原教室)	朝食		大分市
④ すみれ学級 4 組 (別府はるかぜ教室)	夕食	学習指導	別府市
⑤ すみれ学級 5 組 (三重教室)	朝食	豊後大野市三重町	
⑥ すみれ学級 6 組 (岩田教室)	夕食	学習指導	大分市

#### (2) すみれ学級開催日数と提供食事数

開催予定日数と、食事提供予定数は別紙のとおりとなっている。

### 4. すみれ学級の発展的展開特記事項

マスコミ報道等によれば、深刻ないじめによる子どもの自殺が後を絶たず、親や養父母等による虐待件数が戦後最大といわれている今日、加えて新型コロナウイルス感染症禍の子ども達に目を向け、子どもの心身の健康に留意し、子どもとその保護者が社会的に孤立し、ひとりぼっちで放棄されることのないよう、本財団では次のような事業を新たに展開・継続してまいりました。

#### (1) 別府はるかぜ教室

すみれ学級の拡大前進は、とりもなおさず家庭において孤食に耐え、食に苦しみ、学校教育との立ち後れに戸惑う子どもたちとその保護者にとって、ほのかな灯りではあるが、暗夜の一灯として、市町村、学校当

局、地域自治会及び福祉関係篤志家の方々の協力のもと、平成 30 年 6 月に、別府市において本別府はるかぜ教室（4 組）を開設しました。

\*別府はるかぜ教室は、社会福祉法人洗心会理事長矢野昌弘氏の全面的協力をいただいで開催できましたことを、重ねて厚くお礼申し上げます。

なお、今般の新型コロナウイルス感染症に伴い、当該教室が特別養護老人ホームの一角をお借りしているということから、2020 年 3 月以降教室は一時休業しておりましたが、洗心会矢野理事長様のご英断により、同年 5 月 18 日に再開いたしました。

## (2) ふれあい子どもカフェの開催

### ① 野口ふれあい子どもカフェ

平成 30 年 10 月から別府市、別府市教育委員会、別府市社会福祉協議会と連携し、旧野口小学校跡地において毎週日曜日 11 時から 15 時まで、昼食の提供と、学習支援を開始したところであり、子ども達や地域住民から新たな試みとして歓迎されている。

なお、新型コロナウイルス感染症により、別府市内の公民館施設等の閉鎖により 2020 年 3 月より休止していたが、6 月 8 日に再開した。

\*別府市の指導により、調理場が使えず弁当の支給となっていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、現在同公民館が使用できなくなっている。

### ② 大津ふれあい子どもカフェ

すみれ学級大津教室についても、同様に毎週日曜日 11 時 30 分から 13 時 30 分まで昼食の提供を行った。

なお、大津ふれあい子どもカフェは、呼びかけ努力を尽くしたが、児童・生徒が十分には集まらなくなったことから、2020 年 9 月より一時休止とした。

## (3) すみれ学級 2 組（大津教室）の閉鎖について

すみれ学級 2 組（大津教室）は開催に当たり教室確保に困難を極めたが地域公民館での開催にこぎ着け、学校及び地域自治会にも説明する中

で夕食提供、学習指導の場として一定程度の子ども達が集まっていた。その後公民館以外の設置場所が必要となったため、大津町の県社会福祉協議会に隣接する現在地に開設したものである。

しかしながら当該地は社協閉館後、夜間の人通りが少なく、子ども達が集まりにくいという環境もあり、本年度にいたって参加児童・生徒が極端に減少した。校区の小学校や自治会などにも働きかけをしたが、参加者の減少が止まらず数人程度の状態が続いたことから、これ以上の事業改善効果が見込まれにくいと判断し、県内全域を見渡したところ他の市町村ですみれ学級開催を希望するところも多いことから、ご寄付いただいた限りある財源を有効に使わせていただくことも視野にいれ、本年3月末をもって閉鎖しました。

#### **(4) 子ども達の健康と地域からの要望に応じた「朝食」の提供**

大分市小池原教室においては、登校前の子ども達に朝食を提供し、発育期の子ども達の栄養の確保と不登校傾向の子供達への支援としても、学校関係者から感謝されている。

#### **(5) 三重町すみれ学級（5組）**

豊後大野市在住の篤志家から駐車場付きの家屋を無償提供していただいております。場所は豊後大野市三重町市場の三重第一小学校から徒歩数分という適地である。大分市、別府市の子ども達に限らず、可能な限り子どもの貧困に手当てしていくという創業の志から昨年1月15日に開設し、すみれ学級5組として継続している。

なお、新型コロナウイルス感染症により、2020年3月より休止していたが、同年4月11日より再開している。

#### **(6) 岩田町すみれ学級（6組）**

大分市岩田町在住の篤志家からマンションの1室であるが子ども食堂として子ども達に食事を提供したいとの要望があり、実現に至ったものである。小規模な学級であるが、地域の子供達の食の確保と学習の場として機能している。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により、現在休止している。

## (7) 女子児童・生徒に対する生理用品の無償配布

人間は尊厳を失ってはならず女子児童・生徒が生理用品に事欠くという事は、食の尊厳とは別の次元で女性としての尊厳の問題に帰するものと考えている。女子児童・生徒の生理用品の欠如に関する正確な統計は発表されていないが、英国では10人に一人の女性が生理用品を買っていないという報告もあり、我が国でも子どもの貧困実態から見て、生理用品の欠如という事実が発生していることが想像される。

こうしたことから、すみれ学級では、小学校4年生以上の女子児童・生徒に対し、その保護者あてに、厳重封緘して隔月に1度生理用品の持ち帰りを実施している。なお、この生理用品は篤志家メーカーからのご好意により、定期的に現物ご寄付をいただいている。

## (8) 子ども達の歯科衛生の徹底

食事後の歯磨きについては、かねて懸案であったが、本財団としても、これに取り組んでいる。

しかしながら、すべての教室に歯磨きを行う手洗い場が確保できないことから、歯科衛生士さんによる各教室巡回の「正しい歯磨き指導」を行ったほか、三重教室では食後歯磨きを実施している。なお、歯ブラシは歯ブラシメーカーから無償提供いただいている。

## (9) 大分大学経済学部学生による学習・進学指導及び大分大学経済学部との連携の継続

### ① 大分大学経済学部学生による進学学習指導

本年度も、すみれ学級敷戸教室（1組）において、中学生を対象に火曜日、木曜日、土曜日の週3回、大分大学経済学部学生によるマンツーマン指導を基本として、公立高等学校入学を目指した進学学習指導を行っている。格差社会の拡大は、貧困の中で教育の格差となって現れ、再生産されていると指摘されています。高等学校などの無償化のなども始まっているが、高等学校入学のための学習塾などの教育費は相対的貧困家庭においては非常に重い負担であり、本財団において学習支援の一環として、公立高校入学を目指したマンツーマン指導を実施している。指導する学生も熱気にあふれてお

り、すみれ学級から公立高校へという道筋を継続的に実施していきたいと考えています。

## ② 大分大学経済学部との連携協定の継続

本協定は、平成 29 年 5 月に締結され、大分大学経済学部の授業で、現実の地域社会における社会的課題を現場体験や地域交流を通じて発見・認識し、課題解決に取り組み、すみれ学級 1 組をその場として提供するというものです。

## (10) すみれ学級の危機管理（子ども達の安心・安全面への配慮）

子どもは国の宝であり、地域社会の力の源泉である。本財団では、設立当初から、子ども達の通学時の安全管理、食事におけるアレルギーや感染症対策に力を入れてきた。

現在、すべての子どもに、防犯ベルを持たせているが、可能な限りの集団登下校、保護者による送迎などを実施するとともに、調理員の定期的検便、インフルエンザの予防接種の無料接種などの配慮をしている。

また、万一、不慮の事故等に対する傷害保険への加入のほか、食物アレルギーに対しては保護者に十分な聞き取りを行っており、幸いにも、これまで重度の食物事故は起こしていないが、引き続き気を緩めることなく、対策を講じていきたい。

なお、今般の新型コロナウイルス感染症発生に伴い、学級開催に当たっては、いわゆる「3密の解消」に留意するとともに、手洗いの励行、手指消毒の徹底、室内消毒液の噴霧、マスクの着用など感染防止に向けたあらゆる対策を講じているところである。

## Ⅲ. すみれ学級の財政確立について

「子どもの貧困対策の推進に関する法律」は 2013 年に成立し、その施行に合わせて各都道府県は「子どもの貧困対策推進要綱」を設置し、それぞれ支援に関する責務をうたっている。しかしながら、現実問題として「子ども食堂」に対する財政支援は行われていない。現在全国に 5088 箇所ある（むすびえ調査 2020.12.23）といわれる子ども食堂の経営主体は、NPO や地域の篤



志家の呼びかけによる社会貢献的な私団体がほとんどで、本財団のような「子ども食堂」を運営する公益財団は希少な例に属する。

子ども食堂をやりたいという声は巷間よく聞くが、実施面での最大の問題は運営資金である。そのため、全国的には週に1回または月に1回などの「子どもの居場所づくり」を主眼に置いた子ども食堂が主流になっている。公的支援がない中で文字通りの社会貢献として厳しい財政的現実の中で必死になって子ども食堂を運営しているものと思われる。

幸いにも、本財団は創業者理事長藤井富生の子ども達への深い愛情に基づく財政支援により、これまでほとんど毎日食事を提供することを可能にしている。年間提供食事数10,000食というのは、全国的にもほとんど例を見ない数字である。それはひとえに多くの企業、個人からのご寄付、助成金、補助金によるところが大であり、重ねて紙上お礼を申し上げる次第であります。

しかしながら、今後とも安定的に子ども食堂事業を遂行するため、次の2点を充実・発展させてきたところである。

## 1 株式会社すみれによる本財団への寄付金の増額

自主財源のため、2年前に利益を全額財団に寄付するための株式会社すみれを設立した。おかげさまで(株)すみれの取り扱う(株)大塚商会の事務用品通信販売「たのめーる」は特別養護老人ホーム、病院、各種団体などからご支持・ご支援をいただき、紙おむつ、衛生材料等と併せて2020年度には年間販売額7千万円まで到達したところです。

しかしながら、販売額に比して小さな利益の積み重ねとなっており、現時点ではすみれ学級の財政の一部しかまかなえておりません。

今回の新型コロナウイルス感染症禍でさらに進むであろう子ども・母子家庭の貧困に対して、子ども食堂はさらにその必要性を増しており、「すみれ学級」はなくてはならない社会インフラの一部になりつつあります。

福祉は始めることは容易であるが、事業を安定的に継続することは極めて困難であります。ですが、創業以来の志を守り、子供たちの未来を守るため、株式会社すみれによる寄付金の増額を図ってきたところです。

## 2 賛助会員及び一般寄付金の拡大

うち続く自然災害と新型コロナウイルス感染症の影響により、殺伐とした社会の中であればこそ善意の灯は小さくても、子ども達に届く灯として灯し続けなければならないものと考えています。

このため、2020年度は全県で学級通信などにより、賛助会員及び各種団体、法人に対し賛助会員登録及びご寄付のお願いして参りました。

なお、財政確立と併せて、子ども食堂開催の需要の高い市町村に対しては、当該市町村及び団体と連携・協議しながら新規開設を視野に入れてまいります。

## 3 子ども食堂支援加藤登紀子チャリティーコンサートの開催

子どもの貧困と子ども食堂事業への支援を幅広い県民のみなさんに訴えるために、2020年10月2日、同コンサートを開催し、多くの皆さんの賛同をいただきました。なお、当日は、子ども食堂を利用する子ども達の一部ではありますが、音楽芸術を通じた感動を伝えることができました。

報告事項 ② 2020年度参加者集計

公益財団法人すみれ学級  
2020（令和2）年度 参加者集計

2020年（令和2年）度すみれ学級開催実績			
様態	名称	開催頻度・曜日	開催日数
夕食	すみれ学級1組（敷戸教室）	週3回 月・水・金	144
	すみれ学級2組（大津教室）	週3回 月・水・金	139
	すみれ学級3組（小池原教室）	週3回 月・水・金	144
	すみれ学級4組（別府はるかぜ教室）	週3回 月・水・金	126
	すみれ学級6組（岩田教室）	週2回 火・金	72
朝食	すみれ学級3組（小池原教室）	週3回 火・木・土	145
	すみれ学級5組（三重教室）	週5回 月～金	221
昼食	野口ふれあい子どもカフェ	週1回 毎週日曜日	39
進学教室	すみれ学級1組（敷戸教室）	週3回 火・木・土	124
合計			1154

参加者数

年間参加児童・生徒等数	9,330 人	
食事提供数	9,330 人	
スタッフ総数	調理生活指導員	18 人
	学習指導員	31 人

報告事項 ③ 2020年度すみれ学級 概要と報告

2020（令和2）年度  
すみれ学級 概要と報告

## 概要と報告

すみれ学級1組（敷戸教室）																
開催場所	大分市敷戸西町1182-298										開設日	2016年8月				
開催日 と 開催内容	月・水・金										夕食の提供と学習支援					
	火・木・土										中学生対象の進学教室					
在籍 スタッフ	調理・生活指導員					3人										
	学習指導員					16人					専任2名+大分大学経済学部生など14名					
参加者 数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開催日数	1日平均数
	夕食	126	147	125	168	153	178	217	246	247	209	218	204	2238	144	15.5人
	進学教室	0	11	38	43	32	42	64	74	80	81	73	61	599	124	4.8人



すみれ学級の1組・2組・3組は自粛期間中も一日も休まず開催しました。スタッフの皆さん、大学生たちの努力の賜物です。

### 「卒業のお別れ会」

3月18日、敷戸教室の中学3年生たちを迎えて、お別れ会が開催されました。今年度も大分南高校や大分工業高校、福德学園など真面目に進学教室に通っていた生徒たちの合格が無事決まりました。

理事長の挨拶の後、パーティーションをはさんで、お弁当とデザートを頂きながら卒業を祝うことが出来ました。大分大学の学生さんたち、またすみれ学級の活動を支援して下さる皆様のご協力のもと、生徒たちが成長することが出来ました。

## 概要と報告

すみれ学級2組（大津教室）																
開催場所	大分市大津町1-3-11										開設日	2018年2月1日				
開催日と開催内容	月・水・金										夕食の提供と学習支援					
在籍スタッフ	調理・生活指導員					2人										
	学習指導員					1人										
参加者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開催日数	1日平均数	
	20	20	21	34	15	15	46	29	40	25	39	45	349	141	2.5人	



### 「お弁当の日」

今年にはコロナ禍ということで色々と支援も頂きました。この日の大津教室では、大分青年会議所から寄贈して頂いたお弁当。お味噌汁を作ってもらい、喜んで食事していました。

### 「お別れパーティー」

参加者の減少が見られた大津教室は残念ながら3月26日をもって閉鎖となりました。子どもたちを招いて最後のお別れパーティー。

唐揚げやケーキを食べた後、今までありがとうの気持ちを込めてみんなで写真を撮りました。



## 概要と報告

すみれ学級3組（小池原教室）																		
開催場所	大分市小池原団地集会場											開設日	2018年2月1日					
開催日 と 開催内容	月・水・金											夕食の提供と学習支援						
	火・木・土											朝食の提供						
在籍 スタッフ	調理・生活指導員					4人					基本は朝食2名、夕食2名							
	学習指導員					1人												
参加者数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開催日数	1日平均数		
	夕食	95	97	137	131	51	65	73	85	82	64	69	43	992	144	6.9人		
	朝食	106	106	104	101	71	53	74	50	52	48	33	35	833	145	5.7人		



### 「誕生日会」

今年度は一般社団法人パチンコパチスロ社会貢献機構より助成をうけ、各月のイベントを充実させることができました。

3組小池原教室でも、この日の誕生日会ではカレーとケーキ、フルーツも。誕生月の子どもには名前を書いたランチョンマットを敷いて、お祝いしました。

### 「クリスマス会」

クリスマス会は各組とも特別に準備しました。

小池原教室も21名の子ども達が参加し、プレゼントを受け取り、チキンとケーキ、ハンバーガーでパーティーとなりました。



## 概要と報告

すみれ学級4組（別府はるかぜ教室）																
開催場所	別府市鶴見8-5 別府高齢者ケアセンターはるかぜ内										開設日	2018年6月1日				
開催日と 開催内容	月・水・金										夕食の提供と学習支援					
在籍 スタッフ	調理・生活指導員					1人										
	学習指導員					4人										
参加者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開催日数	1日平均数	
		128	213	226	122	124	198	207	171	117	147	191	1844	126	14.6人	

### 「ハッピーハロウィン」

はるかぜ教室では英会話講師のマイク先生の影響もあり、ハロウィンパーティーが本格的です。

先生も、子どもたちも仮装して、

「トリックオアトリート！」

いろんなおばけに化けた可愛らしい子どもたちでした。



### 「ひな祭り」

別府はるかぜ教室は参加者に女子児童が多いのも特徴です。

女の子たちの成長を願うひな祭りの塗り絵を飾り、

雛あられを食べながらみんなで  
お祝いしました。



概要と報告

すみれ学級5組（三重教室）																	
開催場所	豊後大野市三重町市場1509-1 （三重第一小学校裏）										開設日	2019年1月15日					
開催日と 開催内容	月 ～ 金										朝食の提供						
スタッフ	調理・生活指導員					6人					シルバー人材センターからの派遣職員						
参加者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開催日数	1日平均数		
	38	65	141	136	81	157	234	225	220	105	121	197	1720	221	7.8人		



「デコメニュー」

三重教室のイベント時のメニューはいつも特別なデコメニューです。

ハロウィンパーティーのカレーはお化け仕様。

パウンドケーキも、ゆで卵もお化けにしてくれました。他教室にも反響の大きいメニューでした。

「クリスマスランチ会」

いつも朝食の提供を行っている三重教室ですが、クリスマス会は冬休み期間ということもあり、ランチ会として開催しました。

この日は昼間暖かく、密を避けるためもあって外にもテーブルを出し、陽気の中可愛らしいクリスマスカレーを味わったようです。



概要と報告

すみれ学級6組（岩田教室）															
開催場所	大分市岩田町1-7-7 サンライト岩田201号										開設日	2019年4月9日			
開催日と 開催内容	火 ・ 金										夕食の提供と学習支援				
在籍 スタッフ	調理・生活指導員					2人					調理のうち1名はボランティア				
	学習指導員					1人									
参加者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開催日数	1日平均数
			32	47	37	45	26	28	32	26	27	45	345	72	4.8人

「岩田教室の美味しいご飯」

各教室の中でもとりわけお料理にこだわりのある6組岩田教室です。  
今年のクリスマス会のメニューはみんな大好きハンバーグ！  
ポテトにパスタにパプリカも。



クリスマス当日はお家で過ごす子どもも多いだろうと、少し早めに、お誕生日会も兼ねて開催しました。  
コロナ対策でパーティションを挟んでの食事となりましたが、子どもたちも特別なメニューを美味しく頂いたようです。

## 概要と報告

野口ふれあい子どもカフェ																	
開催場所	別府市野口元町12-43 野口ふれあい交流センター										開設日	2018年10月7日					
開催日と 開催内容	毎週日曜日										昼食の提供						
在籍 スタッフ	調理・生活指導員					0人					コロナ対応により弁当配布に切替						
	学習指導員					2人					別府はるかぜと兼任						
参加者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開催日数	1日平均数		
			34	27	36	33	40	36	35	50	64	55	410	39	10.5人		



### 「月1回の誕生日会」

野口ふれあい子どもカフェは週に1回日曜日のお昼に開催です。

今年度は公民館の使用が4月5月は中止され、6月からの開催となりました。

この日は月1回の誕生日会。プレゼントをもらう順番待ちをしているところです。

### 「大きなツリー」

各教室のクリスマスツリー、今年は助成金で新調することができました。

それぞれの教室の広さに合わせてサイズを選んでいきました。

一番大きなツリーが野口ふれあい子どもカフェに運ばれ、みんなで飾り付けをしました。

クリスマスの準備、楽しいものですね。

